

# 原子力空母 ジョージ・ワシントンが深刻な火災事故

それなのに横須賀市は、小火（ボヤ）と、ささいな事故として発表



写真はGWの火災の状況、米海軍HPより

写真は7・13全国集会 in 横須賀

6月9日～18日の9日間、第2回定例会が開催されました。市長提案は23議案。市議団は10議案に賛成し、13議案に反対しました。反対した議案の内12議案は市職員給与を管理職4%、一般職2.5%引き下げの関連議案。もう1議案は後期高齢

者医療制度に係わるものでした。教育予算の拡充を求める意見書提出についての請願は、一部採択で国に意見書を提出。陳情は8件ありましたが、原子力空母配備撤回などについては、いずれも入られず審査終了となりました。

## 井坂しんや議員が一般質問

### 第2回定例会本会議

#### 被ばく事故隠したまま原子力空母を受け入れるのか

原子力空母の配備については、これまでも質問してきた米原子力艦船の乗組員の被ばく事故の詳細について聞きました。相変わらず事故の報告はないとのこと。このまま入港をさせるようでは、今後の報告体制にも大きな問題を残すこととなります。事故の詳細を明らかに

にしないなら入港を拒否するよう求めました。また、配備予定の原子力空母ジョージ・ワシントンが起した火災について、市が「小火」だと発表したことは明らかな間違いであり、情報の管理と提供の在り方の問題を指摘し、改善を要求しました。

#### 後期高齢者医療制度に対する市民の声を国へ

後期高齢者医療制度については、3・4月にかけて市民から寄せられた苦情・問い合わせが、1日平均350件ほど。職員も対応に追われ、大変な状況だったということが答弁で明らかにされました。市民の反対の声を受けとめ、政府に撤回を求めるよう主張しました。

また、当面の改善について市が住民の声をしっかり受け止め、具体的に改善要望をあげるべきと迫りました。

#### ごみ処理の資料公開をすすめる市民的な論議を

ごみ処理広域化については、葉山町の脱退を受け、新たに三浦市との2市での検討に入っています。その状況で、これからのごみ処理広域化の論議について、1つに、処理方法について、具体的な試算を行い、その資料を公開し、市民的な論議を促すこと。2つにごみ処理体制に

ついては各自自治体の意見を反映しやすい仕組みで行うことなどを提起しました。

#### まちづくりのルールをゆがめる業者寄り中央駅南街区の高層マンション計画

中央駅南街区の再開発事業中止に伴う諸問題については、これまでも追及してきましたが、今回相手業者が99メートルの高層マンション計画（ルネサンスタワー計画）をだしました。これを可能にする土地の高度利用などについてはこれから都市計画審議会で審議されます。予定地の下には緊急のトンネルがあり、高さも深田台

を超え、さらには大きい道路にも接しないこの計画は無謀としか言いようがありません。当初計画中止後の処理に当たって市が極めて業者に有利な取り計らい（高層マンションができないところを可能にしてしまう）をしたもので、市の姿勢が問われます。

#### これで市民の安全が守れるのか

火災発生から市に連絡が入ったのはなんと36時間後。しかも深刻な火災だったのに、市は「ボヤ」と判断し、市会議員全員にファックスで知らせました。大村議員が総務常任委員会で「ボヤ」と判断した根拠を質すと「信頼関係に基づく適切な連絡」で、「ボヤ」という表現は「通訳がそう訳した。英語でなんと訳したのかは覚えていない。」との答弁でした。こんないい加減なことでは市民の安全は守れません。一歩間違えば重大な核事故につながるような事故でした。



総務常任委員 大村洋子議員

#### 原子力空母母港化の四つの危険 連帯した力でストップを

- ①核事故の危険。陸上の原発より危険。軍事機密のため日本の審査ノッチェック。火災事故が危険性を証明。
- ②「殴り込み」機能の強化。
- ③基地の恒久化。寿命が50年といわれる原子力空母、米本国以外で唯一の母港として固定化される。
- ④米軍犯罪の拡大。乗組員が増え、事態はいつそう深刻になる。



日本共産党の市議会報告

## 後期高齢者医療制度は廃止しかない！

# 市民からの苦情・抗議などが 1日平均350件も殺到

高齢者を差別するあまりにもひどい制度であるため、制度そのものの廃止を求める声が大きくなり、参議院では廃止法案が可決されました。衆議院では継続審議となり、秋の臨時国会に持ち越されています。

それなのに、市長は、政府の言い分・方針に従うのみで、4月のスタート時には市民からの問い合わせや苦情・抗議などが日に350件もあつたにもかかわらず、「制度存続は」やむを得ない」との態度です。



国の制度であっても市民の声を聞いて国に意見を言うべきです。また、民生常任委員会で廃止の意見書を国に提出することを求める陳情が審議されましたが、賛成したのは共産党とネットの議員だけ。反対多数で否決されました。

民生常任委員  
ねぎしかずこ議員

## 市民病院の産科医・助産師を確保し、 院内助産院の早期開設を

ここ数年、市内のいくつかの大病院から産科が姿を消す中、今度は、お産をたくさん扱っていたある診療所も今年いっぱいでもやめるといことが明らかになりました。

委員会終了後、この流れを深刻に受け止めた特別委員会のメンバーは、全員の連名で市民病院に院内助産院の早期開設について、緊急の努力を求める要望書を市に提出しました。

## 原子力防災訓練 米軍が事故想定、住民不参加 これでいいのか？

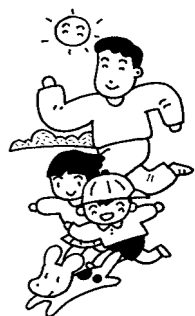
昨年は初めて米海軍との合同の訓練となり、市はそのことを大きな「成果」としました。しかし例年行ってきた住民参加の訓練を行わず、市民からは不信感と怒りが巻き起こりました。

そのことから、住民参加を望む陳情が出され、大村議員は「訓練するにあたって住民参加は基本中の基本、ぜひ今年は住民参加で」と質しましたが、市は「検討してまいりたい」と住民参加の訓練実施の明言をさげました。

総務常任委員  
大村洋子議員

医療環境問題特別委員会  
ねぎしかずこ議員

## 常任委員会・ 特別委員会の報告 企業誘致策は転換点に きている



経済部から「タンガロイ」（工業系の刃物やカッターなどを製造している会社）の研究機関が市内に進出することによって、1億5千万円を奨励金として交付する報告がありました。企業進出に反対ではありませんが、財政的に厳しい中で、企業に対する市の支援のあり方については、見直しを求めてきました。今回も質疑を通じて次のことが明らかになりました。

①法人市民税を免除するため、建物に対する固定資産税以外の税収増は当面ない、②新規雇用はない、③地元企業への発注も期待できない、④経済効果の試算も困難。いずれにしても、利益を上げている大企業に、支援効果の検証もできないまま奨励金を支出するいまのやり方は問題といわざるを得ません。

教育経済常任委員  
井坂しんや議員

## 横須賀の明日を切り開く 確かな力を示した 住民投票条例の直接請求運動



「原子力空母の配備及び安全性を問う住民投票条例案」は賛成8票、反対33票、退席1で否決されました。

蒲谷市長は、前回と同様に「国の専管事項に住民投票はなじまない」との意見を付けました。しかし、質疑の中で、市長は市民が意見を表明することは認めざるを得なくなり、市長の論拠が完全に打ち砕かれ、破たんしました。

一方、5月15日に行われた請求代表者5名の陳述は市長の紋切り型の意見とは対照的で格調高く、説得力があり、住民自治の促進や住民生活の視点から、住民投票の必要性が述べられました。

一度否決されてもひるまず再挑戦し、署名数が前回よりも1万筆も増やした迫力ある直接請求であったことから、住民の声を無視し得ず、「原子力空母の配備に対し多数の市民が危惧していることの証左として、署名の重みは市議会として真摯に受けとめるものである」との意見書が採択されました。

住民運動が議会を動かしたことは明らかです。この流れをさらに大きくして、明るい横須賀の未来を切り開くため今後力をお寄せがんばりましょう。



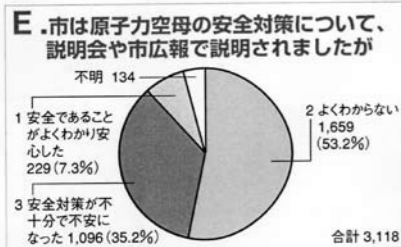
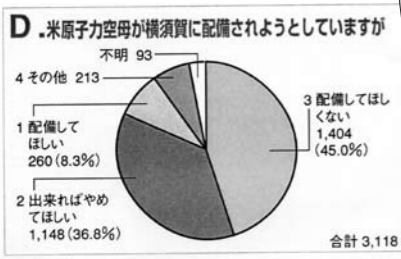
## 市民アンケートの集計結果 報告書ができました

沢山の回答が寄せられ、貴重な資料となると思います。みなさんのご協力に心から感謝申し上げます。報告書をご希望の方は議員団にご一報下さい。



報告書は、例えば、原子力空母の横須賀配備に、配備してほしい、出来れば止めてほしいを合わせると81.8%の方が反対であることなど左のようなグラフでわかりやすく示されています。

詳しくは報告書をご覧ください。



## 新しい所属委員会が 決まりました

新たな意気込みでとりくみますので、よろしくお願いたします。

- 井坂しんや議員 (党議員団々長)  
教育経済常任委員会  
議会制度検討委員会 (オブザーバー参加)  
議会運営委員会 (オブザーバー参加)
- ねぎしかずこ議員 (党議員団副団長)  
民生常任委員会  
医療環境問題特別委員会
- 大村洋子議員  
総務常任委員会  
議会IT化運営協議会  
よこすか市議会だより編集委員

「こんなものがあつたらあつたら……」こう直して欲しい……など、日頃感じている市政への願いを、新年度予算編成に向けてどんな要望していきましょう。

いま、横須賀市議団としても、毎年提出している予算要望書づくりに取りかかっています。「どうやって要望したらいいの?」「要望を聞いて欲しい」「市議団の要望書の中に加えて欲しい」などとお考